

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2006-185049 (P2006-185049A)
 【公開日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-027
 【出願番号】特願 2004-376256 (P2004-376256)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 5 4 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 1 日 (2006.12.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インターネットを介してユーザ端末にホームページを公開するウェブサーバと、ホームページを含む複数ページへのユーザ端末のアクセスを検知するために各対象ページに埋め込まれたウェブビーコン手段と、を含むウェブ環境において、ウェブビーコン手段が検出した対象ページのアクセス情報を収集してホームページオーナー端末に通知するアクセス記録通知装置であって、

ユーザ端末によってアクセスされた各対象ページのアクセス情報を記録するログ記録部と、

ログ記録部に記録されたログデータから各対象ページの少なくともアクセス数と滞在時間とを解析し、その情報から各対象ページに対するユーザ動向を検出するユーザ動向検出部と、

前記ユーザ動向検出部で得られた情報と予め設定された各ページの複数の異常判定条件に基づいて異常アクセスを判定する異常判定部と、

前記異常判定部で異常と判定された場合に、ホームページを含む各対象ページの異常アクセス情報をホームページオーナー端末に通知する異常通知部と、

を備えることを特徴とするアクセス記録通知装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のアクセス記録通知装置において、

前記ユーザ動向検出部は、

解析対象ページの少なくともアクセス情報と滞在時間の各分布曲線から各中央値を算出する中央値算出手段と、

少なくともアクセス情報と滞在時間の各標準偏差を算出する標準偏差算出手段と、

各中央値を中心にして各標準偏差の帯域を正常値帯域としてユーザ動向を検出する平常値検出手段と、を備え、

前記異常判定部は、

刻々変化するユーザ動向に対して予め決められた上限以上及び下限以下で連動する異常判定領域に達したと判定した場合に、ホームページオーナー端末に対してホームページを含む各対象ページのユーザ動向と異常アクセス情報を異常通知部に出力することを特徴とするアクセス記録通知装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のアクセス記録通知装置において、
前記異常判定部は、
前記ユーザ動向検出部で得られた各分布曲線の正常値帯域と、前記ユーザ動向と、複数の異常判定条件と、に基づいて、急激な変化を伴う異常アクセスを判定し、
前記異常通知部は、
前記ユーザ動向検出部で得られた各分布曲線の正常値帯域と、前記ユーザ動向と、複数の異常判定条件と、に基づいて判定した異常判定部の情報を、ホームページの一般情報より優先してホームページオーナー端末に通知することを特徴とするアクセス記録通知装置。

【請求項 4】

インターネットを介してユーザ端末にホームページを公開するウェブサーバと、ホームページを含む複数ページへのユーザ端末のアクセスを検知するために各対象ページに埋め込まれたウェブビーコン手段と、を含むウェブ環境において、ウェブビーコン手段が検出した対象ページのアクセス情報を収集してホームページオーナー端末に通知するアクセス記録通知装置であって、

ユーザ端末によってアクセスされた各対象ページのアクセス情報を記録するログ記録部と、

ログ記録部に記録されたログデータから各対象ページの少なくともアクセス数と滞在時間とを解析し、その情報から各対象ページに対するユーザ動向を検出するユーザ動向検出部と、

前記ユーザ動向検出部で得られた情報と予め設定された各ページの複数の異常判定条件に基づいて異常アクセスを判定する異常判定部と、

前記異常判定部で異常と判定された場合に、ホームページを含む各対象ページの異常アクセス情報をホームページオーナー端末に通知する異常通知部と、

を備え、

前記ユーザ動向検出部は、

解析対象ページの少なくともアクセス情報と滞在時間の各分布曲線から各中央値を算出する中央値算出手段と、

少なくともアクセス情報と滞在時間の各標準偏差を算出する標準偏差算出手段と、

各中央値を中心にして各標準偏差の帯域を正常値帯域としてユーザ動向を検出する平常値検出手段と、を有し、

前記異常判定部は、

刻々変化するユーザ動向に対して予め決められた上限以上及び下限以下で連動する異常判定領域に達したと判定した場合に、ホームページオーナー端末に対してホームページを含む各対象ページのユーザ動向と異常アクセス情報を異常通知部に出力することを特徴とするアクセス記録通知装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

以上のような問題を解決するために、本発明に係るアクセス記録通知装置は、インターネットを介してユーザ端末にホームページを公開するウェブサーバと、ホームページを含む複数ページへのユーザ端末のアクセスを検知するために各対象ページに埋め込まれたウェブビーコン手段と、を含むウェブ環境において、ウェブビーコン手段が検出した対象ページのアクセス情報を収集してホームページオーナー端末に通知するアクセス記録通知装置であって、ユーザ端末によってアクセスされた各対象ページのアクセス情報を記録するログ記録部と、ログ記録部に記録されたログデータから各対象ページの少なくともアクセス数と滞在時間とを解析し、その情報から各対象ページに対するユーザ動向を検出するユー

ザ動向検出部と、前記ユーザ動向検出部で得られた情報と予め設定された各ページの複数の異常判定条件に基づいて異常アクセスを判定する異常判定部と、前記異常判定部で異常と判定された場合に、ホームページを含む各対象ページの異常アクセス情報をホームページオーナー端末に通知する異常通知部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明に係るアクセス記録通知装置において、前記ユーザ動向検出部は、解析対象ページの少なくともアクセス情報と滞留時間の各分布曲線から各中央値を算出する中央値算出手段と、少なくともアクセス情報と滞留時間の各標準偏差を算出する標準偏差算出手段と、各中央値を中心にして各標準偏差の帯域を正常値帯域としてユーザ動向を検出する平常値検出手段と、を備え、前記異常判定部は、刻々変化するユーザ動向に対して予め決められた上限以上及び下限以下で連動する異常判定領域に達したと判定した場合に、ホームページオーナー端末に対してホームページを含む各対象ページのユーザ動向と異常アクセス情報を異常通知部に出力することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

さらに、本発明に係るアクセス記録通知装置において、前記異常判定部は、前記ユーザ動向検出部で得られた各分布曲線の正常値帯域と、前記ユーザ動向と、複数の異常判定条件と、に基づいて、急激な変化を伴う異常アクセスを判定し、前記異常通知部は、前記ユーザ動向検出部で得られた各分布曲線の正常値帯域と、前記ユーザ動向と、複数の異常判定条件と、に基づいて判定した異常判定部の情報を、ホームページの一般情報より優先してホームページオーナー端末に通知することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

さらにまた、本発明に係るアクセス記録通知装置は、インターネットを介してユーザ端末にホームページを公開するウェブサーバと、ホームページを含む複数ページへのユーザ端末のアクセスを検知するために各対象ページに埋め込まれたウェブビーコン手段と、を含むウェブ環境において、ウェブビーコン手段が検出した対象ページのアクセス情報を収集してホームページオーナー端末に通知するアクセス記録通知装置であって、ユーザ端末によってアクセスされた各対象ページのアクセス情報を記録するログ記録部（アクセスログ記録部）と、ログ記録部に記録されたログデータ（アクセスログデータ）から各対象ページの少なくともアクセス数と滞留時間とを解析し、その情報から各対象ページに対するユーザ動向を検出するユーザ動向検出部と、前記ユーザ動向検出部で得られた情報と予め設定された各ページの複数の異常判定条件に基づいて異常アクセスを判定する異常判定部と、前記異常判定部で異常と判定された場合に、ホームページを含む各対象ページの異常アクセス情報をホームページオーナー端末に通知する異常通知部と、を備え、前記ユーザ動向検出部は、解析対象ページの少なくともアクセス情報と滞留時間の各分布曲線から各中央値を算出する中央値算出手段と、少なくともアクセス情報と滞留時間の各標準偏差を算出

する標準偏差算出手段と、各中央値を中心にして各標準偏差の帯域を正常値帯域としてユーザ動向を検出する平常値検出手段と、を有し、前記異常判定部は、刻々変化するユーザ動向に対して予め決められた上限以上及び下限以下で連動する異常判定領域に達したと判定した場合に、ホームページオーナー端末に対してホームページを含む各対象ページのユーザ動向と異常アクセス情報を異常通知部に出力することを特徴とする。